

事業名		山地治山		路河川名等		
事業毎の通番		2	市町村名		軽井沢町	
			箇所名(ふりがな)		離山(はなれやま)	
事業概要	事業目的	当該地は、平成元年に近隣で山腹崩壊が発生した経過があり、地質脆弱な区域である。平成28年7月に落石が発生し、町道及び別荘の一部が破損する被害が発生した。発生源となった斜面には不安定な転石等が存在しているうえ、直下には保全対象である10戸の人家や町道が存在していることから、落石等が発生した場合は大きな被害が想定される。このため、落石対策を実施することにより、災害の未然防止を図りたい。				
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	4-1地域防災力の向上		事業実施の根拠法令等	森林法	
	関連する事業、計画等					
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	人家10戸、町道350m				
	着手年度	平成29年度	事業期間	3年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)
	完成年度(見込み)	平成31年度	費用対効果	6.6	国庫	25,000
					その他	22,500
					県債	2,500
					一般財源	1,750
		全体事業内容(主な工種)	ロープ伏工1,000㎡ 覆式落石防護網工3,000㎡		50,000	
	年度事業内容(主な工種)	覆式落石防護網工3,000㎡		35,000		
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	人家10戸、町道350mの保全				
	間接的効果(定量的・定性的)					
評価の視点	必要性	○人家戸数:	人家10戸		評価	
		○公共施設数:	町道350m			
		○災害時要援護者関連施設の有無:	なし		B	
		○保安林・林業用施設:	3.06ha/4.54ha=67.4%			
	重要性	○過去の災害履歴:	平成28年7月に落石発生		評価	
		○交通遮断による地域経済への影響:	別荘地内の道路遮断により孤立が懸念される			
○地域防災計画上の位置付け:		なし				
効率性	○費用便益比(B/C):	6.6		評価		
	○事業期間:	3年間(H29~H31)				
	○工法等の比較検討:	マイティネット工、ロープネット工、プラスネット工				
	○流域の総合調整:	軽井沢町と調整中				
緊急性	○流域の地形、地質:	火山噴出物(流紋岩類)		評価		
	○平均渓床勾配(平均山腹勾配):	平均斜面勾配38°				
	○下流の堰堤等の整備状況:	なし				
	○山地災害危険地区危険度・土砂災害防止法指定区域Aランク(山地災害危険地区指定手続き中)					
計画熟度	○事業情報の共有:	平成28年8月10日関係者へ周知		評価		
	○地域の取り組み:	平成28年8月9日軽井沢町から要望あり				
	○地域の合意形成:	事業目的について軽井沢町、地元区と合意が図られている				
	○住民との協働:	0				
部意見	H28年7月に落石が発生し、直下の町道、人家に被害が生じており、早急に落石対策を行う必要がある。	行政改革課意見	斜面の落石防止対策を行い、災害の未然防止を図る必要があることから、緊急性が認められる。	評価結果	○	
				総合評価	B	

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)	
【整備の必要性がわかる状況写真等】	
①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	平成元年に近隣で山腹が崩壊した経過があり、地質が脆弱である。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	平成28年7月に落石が発生し、別荘の一部が破損したため、町からの要望も強い。
③事業説明等の経緯	町及び地方事務所で現地調査を行い、被災原因と今後の対応を検討した。今後関係者に周知する予定。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	現在、発生源対策(保安林:県)と待受け対策(普通林:町)について調整中。
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	なし
⑥地域活性化への影響と配慮	対象箇所の直下には、10戸の人家や町道などの保全対象が存在しており、落石が発生した場合は極めて大きな影響が発生する。
⑦その他	事業代表地点の緯度経度 北緯:N 東経:E